

2021年10月20日

ディケンズ・フェロウシップ日本支部 ニュースレター

ちょっと前までは蝉が鳴いていたと思うのですが、このところはめっきり朝夕の冷え込みが厳しくなりました。会員のみなさまにはお変わりないでしょうか。

さて、10月2日（土）の秋季総会から大分お時間をいただきましたが、総会でご承認いただいたことを中心に、それ以降に進捗があった事柄の情報更新も加えまして、以下の通りお伝えいたします。

松本靖彦

【秋季総会報告】

審議事項：

1. 財務報告

田村財務理事より、2020年度の財務報告があり、承認されました。（本ニュースレター末尾の報告書をご参照ください。）

2. Dickens Fellowship 本部に登録メールアドレスを提供する件について

総会に先立ち、メールでもお知らせした件です。

このたび Dickens Fellowship 本部のウェブサイトがリニューアルしたことに伴い、日本支部会員のみなさまおひとりずつの本部ウェブサイト用アカウントを設定することが可能となりました。

本部から直接アカウントを取得すると、その新しいアカウントでもって、本部のウェブサイトから The Dickensian 最新2年分を、そして Proquest 経由でそれより古い号をご覧いただけるようになります。

秋季総会当日を期限といたしまして、日本支部にご登録いただいたメールアドレスと異なるメールアドレス登録をお申し出いただいた方は、そのメールアドレスを、それ以外の会員のみなさまについては、日本支部にご登録いただいたメールアドレスを、本部に届けるということをご承認いただきました。

この件、松本の勇み足で一部のメールアドレスをみなさまのご承認をいただく前に本部に届けてしまい、ご迷惑をおかけいたしました。突然、本部から英文メールが届いて戸惑われたかと思えます。改めましてお詫び申し上げます。

報告事項：

3. 19世紀イギリス文学合同研究会の今後について

10月17日（日）19世紀イギリス文学合同研究会の今後について、関連学会の代表間で話し合うこととなりました。

【以下、★印の箇所は秋季総会後の更新情報です】

★上記の話し合いが10月17日（日）16時～17時半に、zoomで行われました。参加者は次の通り：大野龍浩（ギヤスケル協会）、金子幸男（ハーディ協会）、川端康雄（ワイルド協会）、松本靖彦（ディケンズ・フェロウシップ）、久守和子（オースティン協会）、福永信哲（ジョージ・エリオット協会）、新野緑（合同研究会世話人）

話し合いの結果、合同研究会の今後の運営の詳細については、以下の項目ごとに各学会事務局、理事会に持ち帰り、まずはそれぞれの学会での方針をまとめることとなりました。

- ①開催形態：対面形式で隔年開催とするか、対面とオンライン形式を交互に毎年開催するか。
- ②開催時期：6月開催としてはどうか。
- ③開催費用：毎回の経費を各学会で割り勘として負担してはどうか。
- ④第一回大会開催：再来年、つまり2023年6月（対面式）としてはどうか。
- ⑤次回ホスト校：次回のホスト校を引き受けられるかどうか各学会の理事会等に諮っていただく。
- ⑥以後の運営委員会の構成について

★現段階で確実に申し上げることができるのは、**来年は合同研究会の開催はない**ということです。来年の合同研究会開催を楽しみにしていらした方には残念なお知らせかと思えます。仮にオンライン形式の開催にするにしても、今からの準備では時間が足りないという判断となりました。

4. 来年度の秋季総会について（対面形式での開催予定）

日時：2022年10月8日（土）

会場：大阪公立大学

★田中孝信先生には、上記の日程で会場を確保していただけることとなりました。来年こそは対面で開催いたしたく存じますが、感染症の拡大状況によりましては予定通りの開催がかなわないこともあるかと存じます。状況が変わり、何らかの変更が加わる場合は、適宜、ML等でお知らせいたします。

その他：

日本支部で Youtube アカウントをつくり、原先生ご講演の動画をアップロードする件
9月18日（土）、合同研究会に先立ち、ディケンズ・フェロウシップ日本支部のイベントとして開催された原英一先生のご講演動画が、これまでのようにそのまま日本支部の HP 上にアップロードすると文字が読み取れないという事態が生じました。そのため、原先生のお許しもいただき、今回に限り、Youtube 上でも動画を視聴できる措置をとることについて、会員みなさまにご承認いただきました。

以上

